

みなさんと日本盲導犬協会を結ぶ会報です

公益財団法人 日本盲導犬協会  
発行人 井上 幸彦  
223-0056 横浜市港北区  
新吉田町6001-9  
TEL.045-590-1595  
FAX.045-590-1599  
<https://www.moudouken.net/>

会報  
第109号

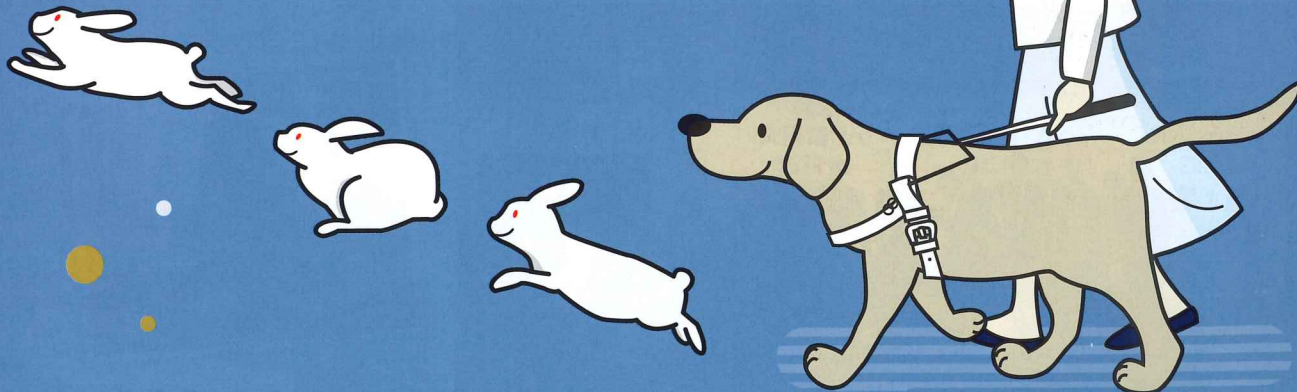


# 盲導犬くらぶ

「さあ、今年も  
一緒に行こう」

みんなが笑顔で暮らせる社会へ

ホップ!ステップ!ジャンプ!



# TOPICS!

主なできごとの中から  
ピックアップ

## 新たな盲導犬ユニット誕生を祝して 出発式を3年ぶりに開催

2022年12月、富士ハーネスと仙台訓練センターで「盲導犬新ユニット出発式」を開催しました。2021年度に新規や代替で盲導犬と歩み始めた方が対象です。コロナ禍を経て3年ぶりとなった式典には、地域の支援者も駆けつけ、共に門出を祝いました。

12月6日に富士ハーネス施設内で行われた式典では、支援者、関係者が見守るなか、タンDEM\*を含む4人3頭のユーザーが盲導犬との暮らしぶり、夢や抱負などを語りました。

盲導犬を希望した理由について「一人で床屋や病院へ行ったかった」「娘を公園へ連れて行きたかった」「鍼灸の勉強会へ行きたかった」と話し、今やそれぞれの願いを叶えて力強く踏み出している様子が伝わってきました。「もっと早く盲導犬の情報があつたら仕事を続けられたかも」と振り返る声や「盲導犬と出かければ、周囲が気に留めてくれて一層の理解が進む」と意気込む声も聞かれました。

ユーザーのこうした言葉の背景を知ってもらおうと、盲導犬を持つまでの道のりを協会職員が解説する場面もあり、参列者は一層共感を深めていました。

12月9日には、仙台訓練センターが仙台駅近くのTKPガーデンシティ PREMIUM仙台西口を会場として出発式を開催。対象者9人のうち、4人4頭の新ユニットが参加しました。

秋田県在住のユーザーは「毎朝1時間の散歩が日課、この季節は白鳥の声を聴きながら歩いています」「盲導犬と雪道にも挑戦してみたい」と意欲的な言葉も。岩手県一関市から盛岡市まで2時間かけて盲導犬と通勤するユーザーは「周囲で見守る人のやさしさに触れた」と感謝の思いを語りました。

当日参加できなかったユーザーからもメッセージが届き「食べたい時にコンビニへ行って大好きな肉まんを買って帰る、ドヤ顔の2人です」。そのエピソードに会場では笑いがあふれ、皆が幸せな気持ちに包まれました。

新たな盲導犬との出発を、ユーザー、支援者、職員のみならずみんなで久しぶりに共に祝った、喜びにあふれた式典でした。

\*タンDEM:1頭の盲導犬を2人で使用する歩行方法



→富士ハーネスでの出発式に支援者ら36人が参列。晴天に恵まれたこの日、富士山も顔を出し、お互いのやりとりも楽しく、終始なごやかな雰囲気になりました



←仙台訓練センターの出発式には支援者ら20人が参列。ユーザーからは日常を楽しむ様子や周囲への感謝、今後挑戦したいことなどが述べられました

## 第14期島根あさひ盲導犬パピープロジェクト始動 先輩の経験を生かしパピー育成の充実を

島根あさひ社会復帰促進センター\*（以下、復帰促進センター）で2022年11月7日、「第14期盲導犬パピープロジェクト委託式」が行われました。2009年の第1期以来、70頭のパピーを育ててきたプロジェクトです。今期、委託されたパピーは計4頭。訓練生（受刑者）23人が参加して、パピー1頭につき5~6人の班体制で取り組みます。パピー育成の一層の充実を図るため、今期から最初の1か月間は経験のある訓練生6人が指導補助として参加し、アドバイスを行うことに。「メンバー間のコミュニケーションがもっとも大切」と語る先輩の経験談に、訓練生たちは真剣に耳を傾けていました。

式典では、復帰促進センターの谷本繁三センター長と植野寿憲協会副理事長がプログラムの意義を述べ、訓練生にエールを送りました。パピーが姿を見せると、緊張した面持ちだった訓練生に満面の笑みがこぼれます。多和田悟協会理事から「1年間お願いします」とパピーを手渡された訓練生たちは、託された命の重みを受け止め、リードを固く握りしめていました。

先輩の知恵を借りながら、第14期プロジェクトが本格始動です。

\*島根あさひ社会復帰促進センター：国と民間事業者が協働して運営する刑務所



←復帰促進センターでの委託の様子。協会の多和田理事が訓練生に盲導犬候補のパピーを託します

### 日本盲導犬協会の歩み 2022.10.1~12.31

- 10月14日 ..... 第7回常任理事会
- 10月26日 ..... 第3回理事会・第2回評議員会合同会
- 11月21日 ..... 第8回常任理事会
- 12月2日 ..... 職員による研究発表大会
- 12月6日 ..... 富士ハーネス「盲導犬新ユニット出発式」
- 12月9日 ..... 仙台訓練センター「盲導犬新ユニット出発式」
- 12月14日 ..... 第9回常任理事会



←10月10日 広島電鉄とそごう広島店が合同で盲導犬ユーザー対応講習会を実施。バス乗降時のサポート方法などを協会がアドバイスしました

↓12月3日東京駅での内閣府主催「障害者週間」ワークショップにて盲導犬デモンストレーションを実施。小倉将信大臣（左端）が視察に訪れました



↑10月26日 長年にわたり協会事業へ貢献のあった元理事・顧問の武富和夫氏と前評議員の鈴木立雄氏を顕彰しました

### ●各センター活動報告(10月~12月)

(2022年12月31日現在)

	神奈川訓練センター	仙台訓練センター	富士ハーネス	島根あさひ訓練センター	
訓練・視覚障害サポート	共同訓練	8回	5回	2回	2回
	パピーレクチャー	30回	9回	17回	4回
	パピーウォーキング修了式	2回	1回	1回	0回
	ユーザーフォローアップ	37回	28回	28回	6回
	盲導犬説明会/盲導犬体験歩行会	11回	8回	11回	3回
各種オンラインセミナー	4回				
リハビリテーション	短期リハビリテーション	0回	2回	0回	0回
	その他リハビリテーション	182回(169人)	190回(289人)	66回(111人)	25回(24人)
普及推進活動	受け入れセミナー	6回	16回	23回	2回
	小・中学生向け実演 一般向け実演・贈呈式・募金活動等	31回 31回	41回 28回	21回 76回	41回 31回

メディア掲載件数	
テレビ・ラジオ	23回
新聞	57回
WEB	81回
その他(雑誌など)	12回

- 主な放送・掲載
- 10月5日..... 秋田テレビWEB2件 NPO法人パートナーズドッグ秋田が開催した盲導犬のチャリティゴルフ大会の記事掲載
  - 10月6日・7日..... 読売新聞他1紙WEB2件 ユーザー2人が呉市長を訪問し、視覚障害者への理解や支援など要請した件を紹介
  - 10月12日..... 東奥日報 八戸盲学校・盲学校での盲導犬体験会を紹介
  - 11月1日~3日..... 朝日新聞WEB1件 協会のユーザー聞き取り調査結果や受け入れ拒否の実態報告を掲載
  - 11月6日..... NHK Eテレ「パピラ」補助犬を特集する番組へ制作協力
  - 11月7日~19日..... 公明新聞、機関紙WEB4件 公明党の古屋範子副代表による神奈川訓練センター視察や山口センター長との対談を紹介
  - 11月21日..... NHK Eテレ「ハートネットTV」「フクツッチ」補助犬特集で盲導犬の歴史や富士ハーネス訪問時の様子を紹介
  - 11月22日..... 読売新聞 島根あさひ盲導犬パピープロジェクト第14期委託式の記事掲載
  - 12月9日..... 中日新聞他1紙WEB1件 富士ハーネス出発式の記事掲載
  - 12月10日..... 河北新報WEB1件 仙台訓練センター出発式の記事掲載

\*協会ホームページにも毎月の放送・掲載情報を公開しています。順次更新しますのでご覧ください。

# イギリスに新たな繁殖ネットワーク ボブさんとメリーさんに感謝！

2022年10月、協会の繁殖事業に関わるイギリスの専門家ボブさんとメリーさんが神奈川訓練センターなどを訪問、訓練現場や犬たちを1週間かけて視察しました。

日本盲導犬協会では、将来にわたり安定した盲導犬提供を行うため、血統管理を通じて盲導犬に向いている親犬を確保しようと、こうした海外の繁殖家との連携に力を入れています。

同年7月に続く今回の交流を経て、イギリス国内で新たに協会の繁殖事業を支える協力体制が生まれつつあります。

## イギリスの繁殖専門家が来訪 関係を深める

来日したボブ・スティールさんは、イギリスで盲導犬育成団体の訓練責任者として活躍し、現在は繁殖家として盲導犬に適した良質な犬を提供しています。日本盲導犬協会に対してもこれまでに17頭の犬を提供、繁殖に関するアドバイスを行うなど、ボブさんは協会の繁殖事業に欠かせない存在となっています。

神奈川訓練センターでは、ボブさんが紹介してくれた繁殖家メリー・ニールさんと一緒に、提供した繁殖犬の子孫である犬たちや訓練の様子を見学し、盲導犬ユーザーやボランティアとも交流しました。メリーさんもかつて協会に繁殖犬を提供しており、今回訪れた繁殖犬飼育ボランティア宅で、そのうちの1頭と再会を果たしました。初めて見る日本の住居にも興味津々、そこで家族に愛されて生き生きと暮らす犬の姿にとっても満足した様子でした。

二人は協会の繁殖拠点である富士ハーネスも訪問、親犬やパピーたちが穏やかに暮らす様子を確認し、パピーレク



↑メリーさん(右端)はイギリスから2019年に送った繁殖犬デクスターと再会。ボブさん(中央)、ボランティア家族(左2人)、協会国際担当の井上裕子職員と一緒に海辺の散歩です

チャーにも参加しました。「盲導犬を育成できるのは、みなさんの活動のおかげ」とボブさん。日本のパピーウォーカーへの感謝と敬意も忘れません。国境を越えて協力を惜しまないその熱意に協会から敬意を表すと同時に、ボブさんとメリーさんにあらためて繁殖事業への協力をお願いしました。

## つながりから生まれる 新たな繁殖ネットワーク

帰国したメリーさんからうれしい知らせが届きました。日本へ安定的に犬を提供できるよう、イギリスの繁殖家に協力を呼びかけ、自身も協会のために繁殖犬を飼育し、生まれたパピーを日本に送ってくれるというのです。「私は協会のスタッフの一員だと思っている」と語るメリーさんに感謝し、協会は繁殖ネットワークをさらに広げていきます。



盲導犬の里  
富士ハーネス



↑パピーレクチャーでは犬たちの様子を観察、ボランティアへ感謝と励ましの言葉を送りました  
←富士ハーネス職員と、協会繁殖担当の矢花由希子職員(右端)、岡和子職員(左から2番目)は「信頼に応えられるよう、新たな血統を大切に努めます！」

# 盲導犬育成を支える ボランティア LIFE

## さまざまな人に支えられて 楽しく続けている 愛らしいパピーとの暮らし

神奈川訓練センター  
パピーウォーカー ● 島村一秋さん一家 ● (神奈川県相模原市)



←毎年、クリスマスの時期にパピーと共にハケ岳へ出かけるのが、島村一秋さん(左)と早田栄さん(右)夫婦のお約束。昨年12月、5頭目のウパムとも訪れました。

**夫** 婦そろって福祉関係の仕事に就いていた、島村一秋さんと早田栄さん。必然的に障害を持つ人との接点が多かったこと、盲導犬ユーザー出演のコンサートへ行ったのを契機に盲導犬に対する関心を深めたことなどから「何か私たちにできることを」と思い立ち、島村さんの退職や転居を機に、2017年からパピーウォーカー(以下、PW)としての活動をスタートさせました。

**初** めてのパピーはラブラドル・レトリバーのピース。「犬らしくない犬」で、当初は散歩よりも車に乗ってお出かけすることのほうが好きで、よく車で近くの公園に出かけました。2か月ほど夜泣きが続き、寝不足のまま仕事へ行くこともありました。「子犬ってかわいいだけじゃないんだなあと気付きました。初めての経験だったので右も左も分からず、『グッド』をうまく言えない、訓練の第一歩である『夢中づくり』ってどんなことをすれば良いんだろう…と、

戸惑うことも多かったです」

**2** 頭目のヴェロはとても好奇心旺盛で、ある日、落ちていたネジを飲み込んでしまいました。すぐに動物病院に連れていきレントゲンで確認したところ、胃の中にあるのが分かり、嘔吐させることで事なきを得ました。早朝だったこともあり、夫婦二人でパニック状態に。「PWは尊い命を預かっているんだと、強く印象付けられました」

**現** 在預かっているのは5頭目で、ゴールデン・レトリバーのパピー。多くの人に希望を届ける犬に育て欲しいと、スロベニア語で「希望」を意味する「ウパム」と名付けました。「ウパムはとてもやんちゃで動きが激しく、気分にもうらみ

す。ご飯をなかなか食べてくれないことがあり、私たちが食べる振りをして関心を持たせたり、少量ずつ与えたりと工夫しています」。それでも、「仕事から疲れて帰ると『これでもか!』というほど歓待してくれる姿はたまらなく愛らしいです。PWを続けている理由は、パピーが無条件にかわいいこと、こうして一途に愛情を向けてもらえる瞬間がうれしく、貴重だからかもしれません」

**1** 日2回、散歩をしています。パピーがいないと張り合いがなく、行かなくなってしまうことも。パピーと一緒に生活することで健康面でも助けられています。また、犬たちがつないでくれた、たくさんの人たちとの出会いがボランティア活動を支えています。

**大** 変なこともあるけれど、のんびりと楽しみながらできるPWは本当に素晴らしいボランティア」と笑顔で応える二人。「これからも愛情をたっぷり注ぎ、成長を楽しみながら元気なパピーを育てていきます」



↑「やんちゃなウパムに手を焼くこともありますが、先輩のパピーウォーカーから言われた『たっぴりかわいくなって、元気に送り出せばいいんだよ』という言葉をもとに、愛情を注ぐ日々です」



←ヴェロは初めて迎え入れたゴールデン・レトリバー。甘えん坊で抱っこが大好きで、たのびのんびりした子や自己主張が強い子など、性格は頭一頭異なる生活は楽しいです」

スタートライン  
**Start Line**  
みなさんご支援に支えられて新しいパートナーと出会った共同訓練卒業生たち。喜びに満ち、まさにスタートラインに立ったところ

2022年11月までの共同訓練卒業生

- 各ユーザーの紹介項目  
ユーザー名・在住地(盲導犬歴)  
盲導犬名(雄♂/雌♀) 犬種  
①共同訓練期間  
②パピーウォーカー名  
●犬種記号  
LR:ラブラドル・レトリバー  
GR:ゴールデン・レトリバー

神奈川訓練センター  
**妻と娘とエルと一緒に  
楽しみながら歩んでいます**

9年前、線路に落ちて大けがを負った西田友和さん。「慎重に白杖歩行をしていたのに」と落ち込み、事故をきっかけに歩くことが怖くなりました。ガイドヘルパーが付き添う同行援護\*でも自由に歩いている感覚が持てず「外出には常にしんどさを感じていました」

そんな折、妻の梓さんからの提案で富士ハーネスの盲導犬歩行体験に参加しました。幼少期に犬に吠えられた経験から、犬への苦手意識があった友和さんですが、人と一緒に共同作業ができる犬に接してイメージが一転。子育てを通して命に対する価値観が変わっていたこともあり、犬を怖いどころか尊いと感じました。「今なら犬をただ歩くための手段だけでなく、ぬくもりのある存在として受け入れられる」と盲導犬歩行を決意しました。

「困ったな…」共同訓練を受けたいと

いう友和さんに、梓さんが最初に抱いた気持ちです。選択肢として盲導犬歩行を提案したものの、実は梓さんも動物全般が怖く、近づくこともできないほど犬が苦手だったのです。

そんな梓さんの背中を押したのは「盲導犬と一緒になら、見えていた頃みたいに歩けるかもしれない」という友和さんの言葉でした。梓さんには視覚障害を持つ知人が多く、友和さんのように後天的に目が見えなくなった人にとって、見えていた時と同じようにできることがどれほどの支えになるのかを理解していました。だからこそ梓さんは「その想いを叶えてあげたい」と覚悟を決めました。

「どうすれば私たち家族が盲導犬を受け入れられるか、妻も一緒に考えてくれました」と友和さん。「あれほど動物が苦手だった妻も、今では率先してエルをなでて、家族の一員としてかわいがってくれています」。そして、娘の真麻さんも頼もしいお姉さんに。エルが盲導犬として友和さんと良い関係性を保てるよう、エルと遊びたい気持ちを優先させることのないその姿に、友和さんは「エルを弟のように大切に、小さな変化にも気付いてくれま



当初は人懐っこく元気なエルに圧倒され、ブラッシングにも一苦労。でも共に過ごすうちに相手が何をしたいのか、お互い理解できるようになりました。



西田 友和さん  
東京都江戸川区(1頭目)  
エル(♂)LR  
①2022.8.29~10.6  
②高田 典晃さん

↑「人が主体的に指示を出して、犬が指示を聞いて歩く…まさにパートナーです。命ある存在だからこそ“一人じゃない”という心強さもあります」

す」と顔をほころばせます。

点字図書館の館長を務める友和さんは外出の機会も多く、出先での排泄管理が必須です。排泄時間を記録して、排泄タイミングの仮説を立てながら試行錯誤する日々。「苦労は絶えませんが、一歩ずつ成長していきたいです」。さらに「盲導犬が社会で受け入れられるためには、ユーザーも犬の管理を通じて責任と義務を果たすことが不可欠。互いに歩み寄ることで、誰もが気持ちよく過ごせる社会になります。仕事柄、人前に立って話すことも多いので、啓発にも力を注いでいければ」と今後の抱負を語ります。

岡野 宏治さん  
東京都練馬区(3頭目)  
ゲイル(♂)LR  
①2022.9.26~10.7  
②四宮 真奈実さん



ゲイルは生真面目で甘えん坊、ちょっと怖がりな男の子です。外では盲導犬の仕事をきちこなしてくれますが、家では尻尾を振って、椅子に座る私と妻の膝にかわがるに顔をのせては「遊んでよ」とねだります。まだ慎重すぎてちょっと固まってしまうりしますが、少しずつ慣れていってもらいながら、これから旅行をはじめいろんな場所にゲイルと出かけて二人で一緒にいろんな経験をするのを楽しみにしています。

ルルは、人との関係をゆっくり構築していくタイプ。そのため、2週間の共同訓練では、なかなか信頼関係が築けず、「あれもこれもできない」とお互い不安いっぱいだったね。でも、毎週、毎週いろいろなことができるようになって、今では立派な盲導犬ルルの好きなことは、胸の毛をブラッシングされることや、私の足の間で甘えること。これからも好きなことをたくさん教えてね。一緒に楽しく歩いていこうね。



大沢 郁恵さん 横浜市(2頭目)  
ルル(♀)GR  
①2022.10.17~10.28 ②川畑 広子さん



清水 明子さん  
神奈川県川崎市(2頭目)  
ウーフ(♂)GR  
①2022.10.24~11.4  
②鶴本 邦子さん

ウーフは生真面目で、やさしくて、おとなしい性格。大きいのにそーっと静かに甘えてきます。ふわふわでキレイな見た目とかわいい性格もあり、私の職場ではたちまちみんなのアイドルに！うっとり癒やされているファンの中には、私と遊ぶ時だけライオンに豹変することは内緒にしておきます！

大好きだった1頭目ユーガは体調を崩し、早期に引退。悲しみに暮れていた中、やって来てくれたのがウーフです。

本田 由里子さん  
東京都練馬区(1頭目)  
モアナ(♀)LR  
①2022.10.17~11.11



モアナの「母ちゃん、腹減った〜」の鳴き声から一日が始まります。毎日、モアナは通勤に買い物にと大活躍で、職場の人からは「お利口だね」と褒められることも。最初は夫の盲導犬エデルとお互いぎこちなく、様子を見ていましたが、今では仲良くじゃれ合い、微笑ましいです。日々、悪戦苦闘していますが、モアナが来てくれたことで心が潤い、日常が豊かに。実家のある秋田など、可能な限りいろんなところに連れて行きたいです。



クレイは2頭目のパートナー。生真面目だけど甘えん坊で、ちょっぴりビビリちゃんですが、しっかり仕事に専念してくれるので、快適に歩けています。私の三味線の稽古や、趣味の落語や映画鑑賞などへ一緒に出かけています。愛らしい表情とツヤのある毛色で周囲をいつも和ませてくれます。これからもお互いに楽しい人生と犬生が送れるよう、力を合わせて歩んで参りますので、応援よろしくお祈りします！

三浦 廣行さん  
横浜市(2頭目)  
クレイ(♂)LR  
①2022.10.10~10.21  
②上廣 耕治さん

\*同行援護：視覚障害者が、外出の際に必要な移動の援護や視覚情報の伝達支援（代読や代筆など）を受けられる福祉サービス

### 仙台訓練センター

**永沢 淳さん**  
岩手県大船渡市  
(2頭目)  
**アッシュ**(♀)LR  
①2022.9.9~9.22  
②星 芳則さん



2頭目のパートナーとなるアッシュ。1頭目とは性別や体格、歩くスピードも違うため、歩き慣れた道なのに、新しいところを歩いているような感覚になりました。散歩ルートは歩道と車道の境目が分かりづらいのですが、アッシュがきちんと道の左に寄って歩いてくれるので安心です。物覚えも早く、失敗しても、次からは上手に歩いてくれます。コロナ前に飛行機でよく出かけていた北海道へ、アッシュと行ける日を楽しみにしています。

**星野 恵美子さん** 新潟県新発田市(5頭目)  
**コムギ**(♀)LR  
①2022.10.31~11.11 ②佐藤 良三さん



縁あって我が家に来てくれたコムギ。甘え方が激しくてかわいいです。職場では周囲の協力や訓練の成果もあり、初出勤から歩きも待機も上手です。コムギと歩くことができるのは、今までいつも左側に寄り添ってくれた歴代の盲導犬キャッシー、ミラ、ピオラ、ヨナがいたから。またコムギを育ててくれた協会職員やボランティアのみなさん、支えてくださる方にも感謝しています。コムギのおかげで何気ない日々が充実し、楽しいです。

盲導犬との“ダイナミックな”歩きを楽しんだり、人に声をかけられるは“うちの自慢”に花を咲かせたりと、盲導犬との暮らしを満喫してきました。年齢などを考え、シンバを最後のパートナーにしようと決めています。電車での通院、近所への散歩など、外出先から安全に家に帰ってこられることが一番大事です。私の足の間で甘えているシンバを抱きしめながら、盲導犬歩行の集大成として、シンバとの歩みを“完結”させるぞ！と誓います。



**園部 文さん**  
福島県いわき市(1頭目)  
**ダスティン**(♂)LR  
①2022.9.19~10.14  
②鈴木 正宏さん

盲導犬歩行は、細かな指示や状況把握が必要で苦労しましたが、側溝に落ちる心配がなくなり、楽に歩けるようになりました。繁華街でも人や物にぶつかることがなく感動しました。共同訓練中にコンサートを鑑賞する機会があり、“盲導犬との外出”を具体的にイメージできてよかったです。日常生活には慣れましたが、もっと楽しめる余裕が出てきたら電車の旅をしたいです。ダスティンはとてもかわいく、すでにかけがえのない存在です。



**野崎 正さん** 新潟県上越市(3頭目)  
**シンバ**(♂)LR  
①2022.11.13~11.28 ②久保 晴彦さん

### 富士ハーネス

マイアと共同訓練で初めて会った時、なんて面白い子なんだろうと思いました。うれしい時や不安な時、体全体を使って表現してくれるので、その感情が私へダイレクトに伝わってきます。私のことをよく見ていて、マイアと息をそろえて歩けることがとてもうれしいです。コロナが落ち着いたら、今まで利用したことのない飛行機にマイアと乗って、国内や海外などいろいろなところを旅行してみたいです。



**庄司 恵美子さん** 静岡市(2頭目)  
**マイア**(♀)LR  
①2022.10.17~10.31

**三輪 利春さん**  
松江市(5頭目)  
**グラン**(♂)LR  
①2022.10.3~10.17  
②古川 祐治さん



アランが引退し、5頭目のパートナーはグラン。当初はアランと名前を呼び間違えてしまうこともありましたが、グランは元気な子で、股ぐりやボール遊びが大好き。ハーネスをつけたら仕事をがんばってくれるので、笑顔で「グッドグッド」と声を出し、グランを触り褒めて歩いています。夜遅くまで仕事をしているので早起きは苦手ですが、朝も含めいろんな時間に町を闊歩しています。70歳を迎えても気持ちは20代！孫のようなグランと接する毎日は楽しく、家の中も明るくなりました。

### 島根あさひ訓練センター

ジュリアが来て約1か月。外を歩く時、細かな部分に気付いてくれる面もあれば、家の中では私や家族にくっついてくる甘えん坊な面もあり、また時には遊んでテンションが上がることも。共同訓練中には見えなかった一面も出てくるようになりました。一番の目標は、ハッピーリタイアまで楽しく安全に、寄り添って歩くこと！少しずつ慣れていくために近場を歩いて練習し、慣れてきたらいろんなところに行きたいと思います。



**池前 巳代子さん** 福岡県北九州市(4頭目)  
**ジュリア**(♀)LR  
①2022.10.31~11.12 ②内田 昭博さん

**齊木 美鈴さん**  
山梨県西八代郡  
(3頭目)  
**エド**(♂)LR  
①2022.11.7~11.18  
②小林 元さん



エドはとても人懐っこく、初めて出会った時はあまりのかわいさについ抱きしめてしまいました。家では寝る前にエドの美顔マッサージをすることがマイブーム。エドも気持ちがいいのかマッサージが終わると前足を立ておねだりをしてくれます。エドの歩き方はとてもシャープで分かりやすく、歩く速度も私にちょうどいいです。エドのおかげで毎日が楽しく、これからも一緒にいろいろな場所へ出かけてみたいですね。

心がふれあう

# Heart to Heart

視覚障害や盲導犬について理解を深め  
盲導犬ユーザーが生き生きと  
安心して暮らせる社会を目指して  
心のバリアフリーを広げる活動を紹介し

## 法人会員歴32年、支援のバトンは次世代へ ノベルティ事業を展開する大阪・いづみ企画の社会貢献



左は「社会の一助になることを、いつも考えてきた」と語るを支援  
発起人の柴山取締役会長、右は協会から贈呈した感謝状を手にする  
現担当者の外山マネジャー。支援のバトンは世代を超えて

ある日突然に終わりを迎えます。柴山さんは愛犬との思い出を振り返りながら、どれほど大きな安心感やぬくもりを愛犬が自分に与えてくれたか、に気付いていきます。この思い出は、盲導犬育成支援を続ける大きな原動力にもなっており、今も柴山さんを突き動かしています。

視覚障害者に盲導犬という安心感を届けたいという想いは強く、柴山さんからは「可能な限り支援を継続していきます！」と協会事業へのエールをいただきました。

### ● 視覚障害者の方々の生活の質向上を願って

いづみ企画は、当協会のほかにも動物関連など5つの福祉団体を継続的に支援しています。現担当者の外山マネジャーは「柴山会長は、動物への愛情は深く、社会の理不尽なことやハンディキャップがあることに對して、何か自分にできることはないかと常に考えている人、私もその想いを見習い受け継いでいきます」と語っていました。「社会の一助になる」をキーワードに、支援のバトンは次世代へと手渡されていきます。



いづみ企画本社の受付にはラブラドル常設募金箱や法人賛助会員証、パンフレットやポスターで来訪者にも盲導犬育成の大切さをアピール

大阪の経済の中心地にあり、古くから栄える商業地として大手企業がひしめく船場地区。ここに本社を置く株式会社いづみ企画は、30年以上にわたり盲導犬育成を支援し続けています。

### ● 楽しそうに歩く姿に感銘を受け支援開始

いづみ企画は、1968年の設立時から、印刷や出版、販売促進など広告分野を幅広く手がけて成長してきた会社です。今ではノベルティ商品の生産を行う海外協力工場も多数、扱う商品は数千点、取引先は数百社に及びます。

設立から20年余りを経た1991年のこと。事業が軌道に乗ってきた当時、会社として何か社会に貢献できることはないか、と創業者の柴山君代さん（現取締役会長）は日々考えていたといいます。

ちょうどその頃、柴山さんは街で

盲導犬を見かけます。「盲導犬の賢さ、従順さ、パートナーと楽しそうに歩く姿に感銘を受けました。盲導犬が社会の一助になっている。私たち人間も、社会のためにもっとがんばらなくちゃ！」と奮起した柴山さん。このことが大きなきっかけとなり、1991年7月、いづみ企画は協会の「法人賛助会員」に入会し盲導犬育成支援をスタートさせました。

### ● 動物がくれる安心感多くの人に届けたい

社内の支援活動をリードしてきた柴山さんには、今も忘れられない愛犬との思い出があるといいます。柴山さんは子供の頃に大型犬を飼っていて、毎日のように散歩に連れて行っては、なでたり、話しかけたりしていました。「おとなしくて、やさしくて、人懐こくて、一緒にいるととても安心できる大切な存在でした」。しかし、愛犬との幸せな日々は、

## 生まれました

2022.11.14 誕生

2022.10.12 誕生

2022.11.9 誕生

2022.11.17 誕生

2022.10.16 誕生

犬種記号  
LR/ラブラドル・レトリバー  
GR/ゴールデン・レトリバー

オス1頭  
メス2頭  
父犬フォルク (LR)※1 ×  
母犬シェリー (LR)

オス5頭  
メス2頭  
父犬モーガン (GR)※2 ×  
母犬イルア (GR)

オス4頭  
メス4頭  
父犬ドミノ (GR) ×  
母犬バーニー (GR)

オス4頭  
メス7頭  
父犬ワトソン (LR) ×  
母犬キアラ (LR)

オス4頭  
メス3頭  
父犬ルバブ (LR) ×  
母犬エミール (LR)

父犬ライオン (GR) ×  
母犬ボビン (GR)

父犬ウィンドム (LR) ×  
母犬ヴァトン (LR)

父犬フォルク (LR)※1 ×  
母犬シェリー (LR)

父犬トーマス (LR) ×  
母犬ファミー (LR)

### 委託しました

父犬ライオン (GR) × 母犬ボビン (GR)	母犬ボビン (GR)	母犬ボビン (GR)
母犬ボビン (GR)	池田 司さん	酒井 沙織さん
父犬ルバブ (LR) × 母犬エミール (LR)	池田 司さん	下田 健一朗さん
母犬エミール (LR)	池田 司さん	山田 真吾さん
エシエル♀	森永 和加子さん	川北 武範さん
エルマー♂	嶋田 優子さん	大谷 亜由美さん
エカ♂	ハイスカネ グリアさん	加瀬 香奈子さん
エイワ♂	若井 勝廣さん	光山 結美さん
エリー♀	落合 京子さん	父犬フォルク (LR)※1 × 母犬シェリー (LR)
エルサ♀	安住 陽一さん	母犬シェリー (LR)
エンタ♂	江連 悠子さん	ドレミ♀
父犬ユオン (LR) × 母犬ティンカー (LR)	江連 悠子さん	野村 美枝子さん
母犬ティンカー (LR)	江連 悠子さん	デーデ♂
アロ♀	坂本 ゆかりさん	佐々木 紀明さん
アーチ♂	小林 竜二さん	ドロシー♀
アリス♀	荒井 弘治さん	濁川 敬子さん
アウラ♂	関根 洋子さん	父犬トーマス (LR) × 母犬ファミー (LR)
母犬ティンカー (LR)	関根 洋子さん	母犬ファミー (LR)
アロ♀	坂本 ゆかりさん	ピジュー♀
アーチ♂	小林 竜二さん	剣持 勝さん
アリス♀	荒井 弘治さん	ブルーム♀
アウラ♂	関根 洋子さん	川崎 香里さん

### 亡くなりました

犬名・性別	ユーザー名	ボランティア名	死亡日
ディーオ♂	今岡 秀子さん	河野 鉄平さん	2022.9.13
クララ♀	池前 巳代子さん	小口 佳代子さん	2022.9.30
ポップ♀	小沢 尚子さん	関根 宇洋さん	2022.10.1
パール♀	山口 佳信さん 片山 澄江さん	竹村 和来子さん	2022.10.6
カロ♂	阿部 和子さん	柿本 真由美さん	2022.10.9
ラキ♂	石津 峰夫さん	—	2022.10.19
ウィン♂	竹前 榮治さん	石井 正敏さん	2022.10.20
シンシア♀	松永 恵里さん	松永 清明さん	2022.10.21
ジェルム♀	繁殖引退犬	大久保 貴子さん	2022.10.29
トニー♂	木村 昭子さん	木村 昭子さん	2022.11.6
キーナ♂	小嶋 鈴子さん	辻元 久志さん	2022.11.11
レスカ♀	仲佐 艶子さん	仲佐 理恵さん	2022.11.21
イリア♀	永井 育濃さん	畑澤 東一さん	2022.11.27
パンジー♀	大橋 寛明さん	勅使川原 直彦さん	2022.12.4
テンシ♀	宮本 武さん	横関 眞樹さん	2022.12.10

### 盲導犬育成状況

合計頭数...728頭 (2023年1月4日現在)

委託前パピー	26頭	繁殖犬	49頭
パピー	88頭	PR犬	18頭
訓練犬	68頭	引退犬	169頭
盲導犬	253頭	繁殖引退犬	57頭

### 引退しました

犬名・性別	ユーザー名	ボランティア名	引退日
グリーン♀	岡野 宏治さん	調整中	2022.9.26
インテル♀	庄司 恵美子さん	小澤 保雄さん	2022.10.17
アラン♂	三輪 利春さん	中村 昌弘さん	2022.10.24
ユーガ♂	清水 明子さん	久保 晴彦さん	2022.10.29
ヨナ♀	星野 恵美子さん	小柳 正剛さん	2022.10.31
トーン♂	齊木 美鈴さん	調整中	2022.11.7
テラ♀	木曾 長さん	高永 陽介さん	2022.11.11
レディアン♀	大沢 郁恵さん	鈴木 登さん	2022.11.11
チェリー♀	野崎 正さん	調整中	2022.11.13
ルーシー♀	三浦 廣行さん	林 峰子さん	2022.11.21
ティファニー♀	加藤 今日子さん	調整中	2022.11.28
フルール♀	齋藤 静江さん	野宮 秀樹さん	2022.12.5
エナ♀	鈴木 祐花さん	調整中	2022.12.10

※1: フランスの盲導犬育成団体 (Cesecah) からの凍結精液を使用した人工授精  
※2: イギリスの盲導犬育成団体 (GDBA) からの凍結精液を使用した人工授精

みなさんと協会をつなぐ

## ハーネスひろば

みなさんから届いたメッセージや協会からのお知らせなどを紹介します

8年前、仙台市内で募金活動に参加していた盲導犬に出会ったのがきっかけで会員になりました。その盲導犬は、子供の頃に飼っていた犬とそっくりで、静かに見上げる瞳に運命を感じました。犬の名前はライラ、私の大好きな児童書『黄金の羅針盤』の主人公から取ったものだと知り、会報誌が届くたび記事に名前がないかを確認、きっと元気に仕事をしているだろうと思っていました。

先日会報誌でライラが無事仕事を終え引退したことを知りました。きっとユーザーさんと楽しい毎日だったことでしょう。「本当にご苦労さま」と伝えたいです。きっとライラはこれからどこにいても、幸せな日々を過ごすことと信じています。ライラの幸せを祈りつつ、一度きりの出会いに感謝して、これからも会員としてお手伝いし続けたいと思います。 岩手県 S.Yさんより

## 編集室より

- 『盲導犬くらぶ』の感想やご意見をお待ちしております。
- あて先  
公益財団法人日本盲導犬協会 盲導犬くらぶ編集室  
〒150-0045 東京都渋谷区神泉町21-3-3F  
FAX:03-5452-1267 e-mail: info@moudouken.net

## 行政職員向け

「視覚障害者と盲導犬  
情報セミナー」  
申込受付中!

協会では、行政職員の方を対象としたオンラインセミナーを実施しています。地域で視覚障害者に関わる相談支援事業所、包括支援センター、就労に関わる方の参加も可能です。ぜひご参加ください。

【開催日時】&lt;基礎編&gt;

2023年2月10日(金) 14~15時

※<基礎編>をお申し込みの方には、<応用編>として事例紹介などの動画30分×9本を限定公開しています。

詳細、お申し込みは、右記QRコードから協会ホームページでご確認ください。



## お知らせ

動画公開

【入門】

盲導犬ユーザーが  
施設に来たらどうする？

公式YouTubeチャンネルで「盲導犬受け入れ」動画を公開しました！

盲導犬や視覚障害の基礎知識、法律や障害の捉え方、サポート方法などを分かりやすくまとめてあります。店舗など事業者向けに作成した動画ですが、一般の方にもおすすめです。右記QRコードよりぜひご覧ください。



無理なく、続けられる

ナチュラルプラス®

The Global Healthcare Company

私たちは盲導犬の育成支援・普及活動を通じ、皆さまの健やかな暮らしを応援しています。



株式会社 ナチュラルプラス 〒106-6035 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー35F  
TEL 03-6230-3311 FAX 03-6230-3011 URL <http://www.naturally-plus.com>



Know today, Power tomorrow

株式会社インテージでは、アンケートモニターの皆さまの善意により、謝礼の一部を日本盲導犬協会に寄付させていただいております。

株式会社インテージ  
<http://www.intage.co.jp/>



キューモニター募集  
<https://www.cue-monitor.jp/>



お客様からご注文いただいた商品1袋につき1円を  
いちえん あいききん  
『一縁のeye基金』として積み立て、  
その一部を盲導犬育成支援に活用しています。



あなたから始まる次代への健康物語

わかさ生活

WAKASA